

12 インフラメンテナンス予算の確保について

【国土交通省、農林水産省】

長野県の状況

●老朽化する社会基盤施設の適切な維持管理・更新が急務

・建設後50年を経過する社会基盤施設が、2033年には道路橋の約63%、トンネルの約42%、河川管理施設の約62%、下水道管渠の約21%に達する見込みであるなどその対策が急務

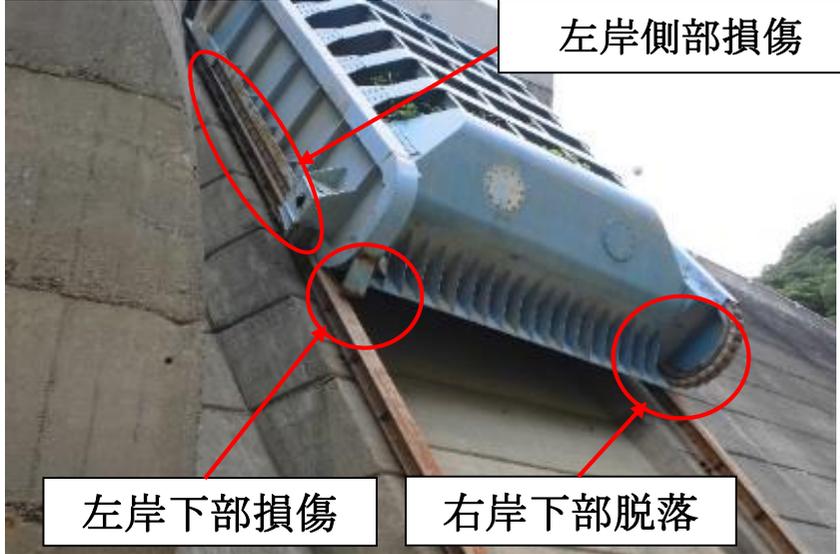
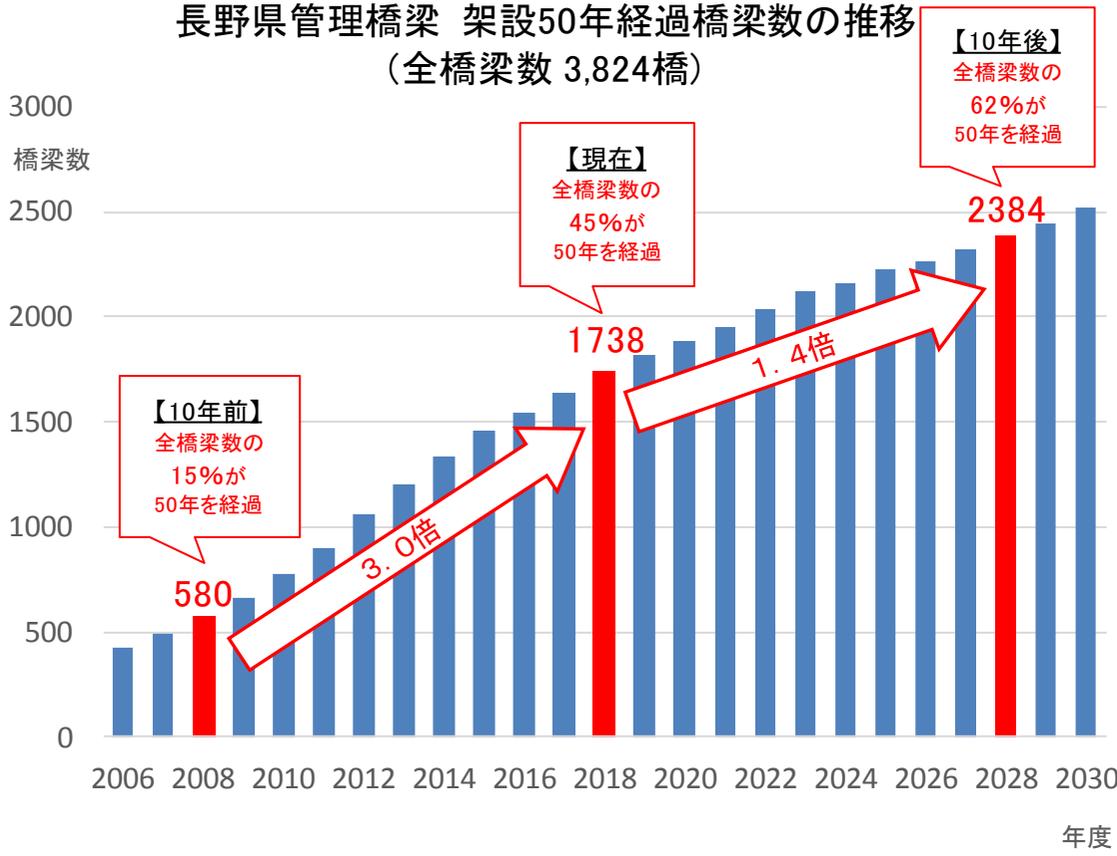
取組

○道路施設

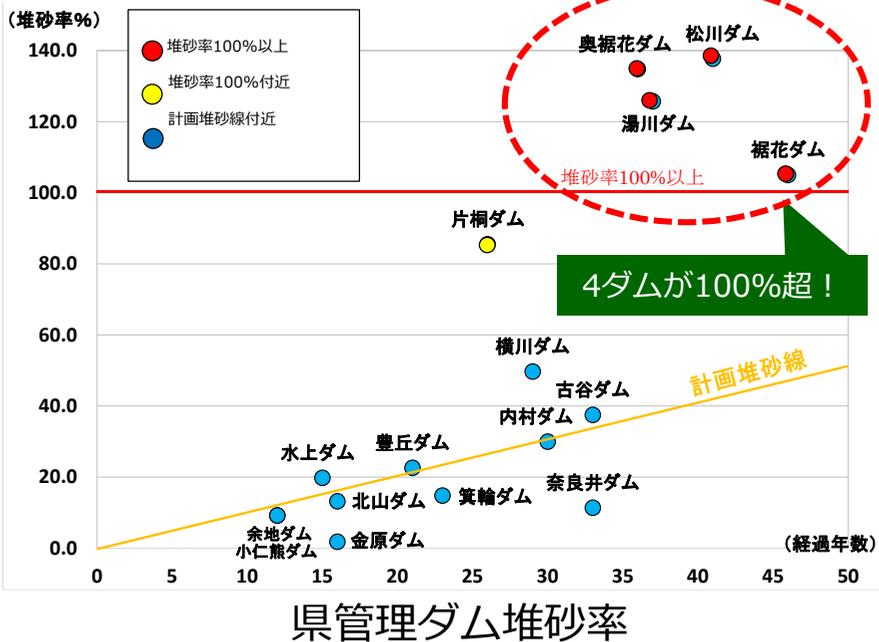
- ・橋梁・トンネル等の法定点検は平成30年度で一巡目が完了
- ・点検結果によると、橋梁では約25%が早期に措置を講ずべき状態
- ・今後5年間で、県管理橋梁の約960橋もの修繕が必要な状況

○河川施設

- ・ダム等の重要河川施設の長寿命化計画を策定 ⇒ 予算の不足により計画に沿った維持管理・更新に遅れ
- ・計画を上回るスピードで貯水池内の堆砂が進行し、早急な堆砂対策が必要



裾花ダム2号予備ゲートの老朽化状況



奥裾花ダムの堆砂状況

○公園施設

- 公園施設老朽化対策を県内14市町村と共に実施

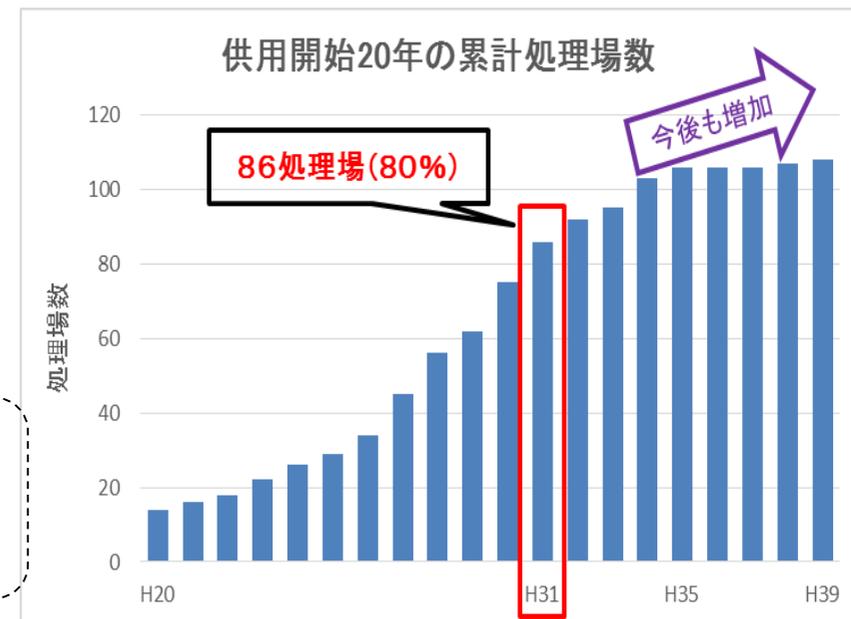


遊具の老朽化状況

○下水道施設

- 下水処理場は代替がきかない施設のため、故障時は日常生活や社会活動に重大な影響を与え、河川湖沼等の水質悪化も誘発

県内の処理場は108(全国第3位)あり、約8割が耐用年数超過



○砂防・治山施設

- 平成30年7月豪雨を受け、石積砂防堰堤の緊急改修を実施 (~H32)
- 治山施設の長寿命化対策を計画的に実施

砂防、地すべり、急傾斜の施設は19,000以上
治山施設は25,000以上



砂防堰堤の基礎洗掘

課題

適切かつ計画的な維持管理・更新を進めて行くための財源及び予算の確保が大きな課題

提案・要望

1 道路施設

道路施設の維持修繕を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと

2 河川施設

平成30年7月豪雨等、頻発化する豪雨に備え、ダムの洪水調節機能の支障となる堆積土砂の除去や、ダム再生を推進するための財政支援を行うこと
また、出水時に支障となる河川内民地の樹木伐採を促進するため、手続きの簡素化を図ること

3 公園施設

公園施設の更新及び改修を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと

4 下水道施設

下水道施設の持続的な維持管理のため、ストックマネジメント計画に基づく老朽化施設改築更新費を確保し、適切な財政支援を行うこと

5 砂防・治山施設

砂防・治山施設の維持管理を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと

6 農業水利施設

食糧生産を支える農業用水の供給機能を確保するため、農業水利施設の長寿命化に必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと